



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第487号

2021年1月11日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

緊急事態宣言を受け、八千代市の対応を聞き取り

1月8日、千葉県を含む1都3県に対し、2度目の緊急事態宣言が発出されました。それを受け八千代市がどう対応するのか、日本共産党市議団は8日、健康福祉部長より聞き取りを行いました。

今回の緊急事態宣言は昨年とは違い、3密（密閉、密集、密接）や5つの場面（飲食を伴う懇親会など、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）を考慮して時短が中心とされています。



昼間集まったり、健康維持のためのサークルについても「3密にならないように、5つの場面になっていないか」を考慮して行われることを前提に自粛の対象外とされました。

八千代市での対応は、県の基本方針に則って

八千代市でも夜8時以降の外出自粛を求めるとともに、飲食店などに時短営業を求めるとしています。協力要請は千葉県の基本方針に則って行うとされ、協力金についても千葉県の方針の通りと述べ、市独自の対策はないのか？の聞き取りでは、特にないとのことでした。

公共施設については、時間貸しは夜8時まで、こま貸し（午前、午後、夜）は夜の部を貸さないこととなりました。12月議会で日本共産党などが提出した、「有料施設の減額」については今回も行わないとのことでした。3密を避けるために、半分以下の人数で利用制限しているのに料金はそのままというのでは納得できません。改善は急務だと主張しました。

さらに、PCR検査などが早急に行えるように進めている、市内の協力医療機関についても確認しました。目標の40医療機関に対して20を超える医療機関が決まったとのことだが、公表はしないとの発言でした。

PCR検査への市内医療機関の協力は

医療機関名を公表している自治体もあるのに、なぜ公表しないのかの聞き取りに、市は「千葉県が公表しないと決めているから」との発言でした。市民の安心のためには公表をと主張しました。市は、何かあれば健康づくり課（☎047-483-4646◇8時から17時）へ相談して欲しいと話しています。また、緊急に広報やちよの号外（1月9日）も発行されました。

今回の聞き取りでは、八千代市の職員体制や習志野保健所などへの派遣要請なども確認しました。最後に八千代市役所での感染症対策についても、サーモカメラ検温の導入や食堂の除菌対策など提案するとともに、時短営業で生活困窮者はさらに増えていることから、市独自の対策や支援を全く考えていないのは問題であると指摘をして聞き取りを終えました。

今後もみなさまの声を市へ届けて行きます。ご意見ご要望は日本共産党市議団へぜひお寄せください。